

広報

さなだまち

NO.383

2005 7

やってみると、おもしろい!

6月12日、本原小の5年生が、アザレアンさなだ横の畑で、サツマイモ植えや、ジャガイモの土寄せをしました。畑は、ボランティア活動をするアザレアンえぼし会が作っているもので、野菜はアザレアンなどのお年よりに提供されます。子どもたちは、興味を持って農作業を体験していました。

特集 耕作放棄



特集

耕作放棄

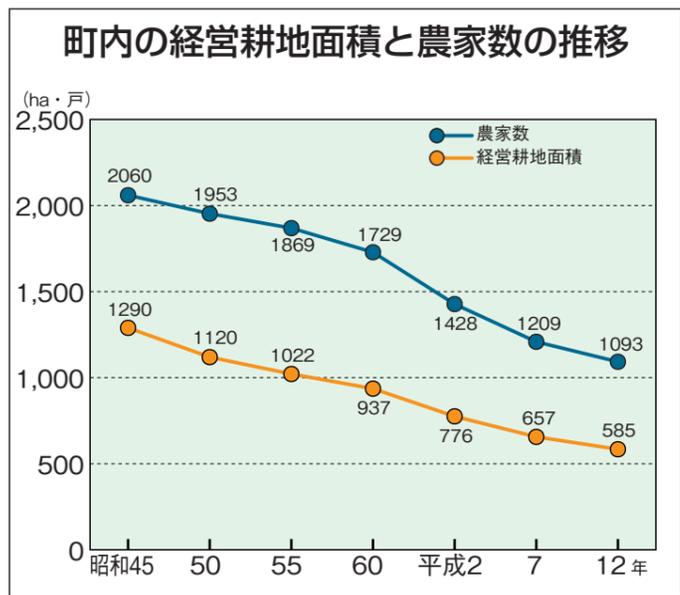
本格的な農作業の季節を迎えている町内。しかし、耕作されず、草木が生い茂る田畑もある。農業担い手の高齢化や、後継者不足から、耕作放棄される田畑が増えている。今月は、この答えの難しい問題を知り、再生への取り組みをみながら、耕作放棄地が増加している現実を考えてみよう。

散水施設があるが、耕作放棄され、草木が生い茂る畑。

現状を知る

農 林業の国勢調査といわれる農林業センサス。その調査では左のグラフのとおり、町内の経営耕地面積は、昭和45年の半分以下になっていきます。農家数もほぼ半減しています。平成12年の農林業センサスでは、町内の耕作放棄地面積は、11709アールで、

平成7年が、8547アールでしたから、37%の増加です。平成12年の調査では、長野県の耕作放棄地面積は、47都道府県中3番目に多く、耕作放棄地率も3番目に高い割合になっています。町の農業委員会では農地パトロールなどを行い、荒れて



資料：農林業センサス

いる田畑があれば、指導を行ったり、農業委員が、荒地の木を切ったりして荒廃防止に取り組んでいます。しかし、耕作放棄地は増えているのが現状です。

耕作放棄地が増える

中、JA信州うえだの真田営農センターでは、農地を貸したい人と、借りたい人の仲介をする農地保有合理化事業を行っています。センター

長の堀内広世さんに話を伺いました。

「作ってくれる人はいませんか」という話はくるという堀内さん。ただ、「貸し手があっても、借り手がなければ、成り立たないから...」。現在町内で、多くの田を借り受けて耕作している人は、わずかしきいませぬ。こうした担い手は、機械化しているもので、大型機械の入りやすい田を作ります。ですから、「小さくて、ほ場整備していないような田はどうしても荒れてしまう」傾向だそうです。

「年配の皆さんが、高齢化してできなくなってきた。それに、若い人は、勤め人になってしまっ、後継者がいない」のも耕作放棄される理由の一つです。

ただ、最近の新しい傾向として、菅平で大規模に高原野菜を作る農家の中で、「春の時期に少しでも早く出荷したい」ということで「何軒かの農家が、菅平以外の標高の低い地域の畑を借りて、耕作するケースが増えてきているそうです。「菅平の皆さんに使ってもらえるよう、これから考えていかなくては」と堀内さんは話します。

作ってくれる人は
いませんかという話は
来ますね。



ほりうちひろせ
堀内広世さん
JA信州うえだ真田営農センター長



手間のかからないものはないかと思っていました。

萩活性化組合長
柳沢孝俊さん(萩)

荒廃地を開墾して、新たな作物作りに集団で取り組む活性化組合は他にもあります。その一つが萩活性化組合です。組合長の柳沢孝俊さんに伺いました。
「畑が荒れていたの、何かいいものはないかと探していたんだが、手間のかかるものは、できない。簡単にできるものはないかと思っていた」と話す柳沢さん。そこへちょうど町からブルーベリーで観光農園をやらないうという話がありました。「男の人は、お茶飲みするわけじゃないから、同じ区にいても、会って話をする機会が少ない。定年になったばかりの人や、農業をやって家にいる人もいるから、そういう人に入ってもらうって、組合を作ってみてはどうかということになった」と言います。現在会員は27人。定年退職した人が中心で、80歳近い人もいます。「観光農園での地区の活性化と、会員どうしのコミュニケーションを図るといふ二つ」が活性化組合設立の目的です。
無償で借り受けて開墾した畑は、洗馬川を挟んで萩集落の対岸の土手上にあります。町の支援を受けて、重機で畑までの道を拡げ、畑に生えて

再生への取り組み

町外からも会員を集め、荒廃地を利用してそば作り 日だまりの里活性化組合



会員の半分ほどは、町外から訪れる。そば畑で、そば料理を作って楽しむ。



町内には、農業を集団で行う活性化組合が12組合結成されています。その中には、荒廃地を開墾して、作物を作り、地域の活性化に取り組みむ組合もあります。
傍陽の横道地区で、荒廃地を開墾して、そばを作る日だまりの里活性化組合の代表、胡桃澤良夫さんに伺いました。「あまりに果樹園が荒れていたから」と開墾の理由を話す胡桃澤さん。平成13年にも

地域内外の人との交流や親ぼくが目的ですね。



日だまりの里活性化組合代表
胡桃澤良夫さん(下横道)

「草刈りして、きれいなったから、起こすかとなり、起こしたから、なにかまくか」という感じ」だったそうで、その年の夏に「そばを打ちたい人は、そばを作ったって打ってみませんか」と地元の人や、その知り合いに声をかけて、

一人の会員と二人で7年ほど耕作放棄されていたりんご畑を除伐機とトラクターで開墾したことが組合設立の始まり、だったそうです。
「草刈りして、きれいなったから、起こすかとなり、起こしたから、なにかまくか」という感じ」だったそうで、その年の夏に「そばを打ちたい人は、そばを作ったって打ってみませんか」と地元の人や、その知り合いに声をかけて、

会員を集め、そばの種まきをしました。会員は毎年40人ほど。会費を払えばだれでも会員になれます。会員の半分は地元横道地区を中心に町内の人で、他は上田市など町外の人です。
毎年夏にそばの種まきをして、9月にはそばの花見。刈り取りは、委託して済ませ、12月から冬にかけて、採れたそば粉を使つてのそば打ちを行います。「会員は、勤め人が多いので、手間のかからないようにして、楽しむ」ということで、「負担が大きくないから、まとまっている」と胡桃澤さん。そばを作らない時期の畑は、起こして草にならないようにしています。
また、この組合がユニークなのは、そばの畑の近くに組合員も協力して荒廃地を手づくりで整備したニユースポーツのバストボール場があり、種まきや花見をした後に、スポーツを楽しんでいること。こうして、そば畑とバストボール場合わせて約2000㎡の荒れていた畑が利用されています。胡桃澤さんは、「子どもからお年寄りまで来てくれるし、地域内外の人との交流や親ぼくが目的ですね」と話します。



いた木も取り除き、畑に戻しました。
開墾した畑には平成13年に500本、翌14年に600本のブルーベリーの苗木を植え

木まで生えていた畑を開墾 粒のブルーベリーが実る 萩活性化組合

ました。収穫は、3年目の平成15年から始まりました。昨年は、そえひ保育園の園児を招いて初物のブルーベリーをサービスしたり、町内学校給食にもブルーベリーを供給しました。
バック詰めして、町の振興公社に出荷しますが、手間がかからないという点では、観光農園として「多くの人に

来てもらって、摘み取りをしてもらいたい。今年は昨年より多くなっているし」と話します。
「草刈りした後、一杯飲んで、今年はどうやろうなんて話するのが楽しい」と話す柳沢さん。今後、畑を拡げて、「タラの芽や、栗なんかもやってみよう」という話もあるんですよ」と話します。

昨年7月には、そえひ保育園の園児を畑に招いて、ブルーベリーの摘み取りを行った。今年も7月下旬から摘み取りを始める。





口コミとかの評判は大事だと思うね。

稲作を大規模に営む

みつひろよしいち
三井良一さん（岡保）

「しまった」と言います。食糧法が徐々に緩和されて、昨年からは生産者も届け出て米が販売できます。三井さんは、町振興公社の新鮮市で白米を販売しています。「そういう農家は増えてきている。玄米より白米の方が値段も下がらない」そうです。「売り始めると、売り先は出てくる。買って、また送って欲しいと言ってくる」そうです。上田などには米を配達。そして長野市、遠くは静岡から、米を買いに来る人もいます。「けっこう評判いいみたいで、真田の米も悪くないんだよ」

「夫婦2人で気楽だからやっている。普通は、サラリーマンをやめてまでできない」という三井さん。当初に設備投資したトラクターや、コンバイン、乾燥施設や、建物の借入れは返済しました。が、「機械類は、全部買い換えている。設備投資はある程度で抑えないと大変になってしまふ」と言います。「流通は複雑だから、これからの百姓は、自分で売れるもの作らないとだめだな。それには、口コミとかの評判は大事だと思うね」と話してくれました。

今月は、耕作放棄される農地が増えている現実と、その復活への取り組みを知り、そして農家の方に、その問題について伺いました。

耕作放棄地が増えている中で、菅平の意欲ある大規模な農家が、標高の低い地帯で行う野菜栽培が増えつつあるのは、明るい話題だと思います。そして、活性化組合という形で、耕作放棄地の復活に貢献している人もいます。町でも、ブルーベリー以外にも手のかからない梅やあんず、山すもも、ぎんなんなどの荒廃地への作付けを奨励。活性化



精米して、色の悪い米は、機械で選別して取り除き、販売する米になる。

三井さん。「耕作してくれという土地はまだ出てくると思う」と言います。稲刈りなどの作業を三井さんに依頼するケースも多いそうで、「はげかけして、脱穀して、大変だからやなんだと思うよ」。「今、若い人で田を作っているのも、年寄りに言われるから作る。年寄りがいなくなれば、若い人は計算するから、荒らすか、人に貸してしまう。今は土地への執着がなくなっ

編集室からひと言

農業をやってみたいと思う人が出てくるような状況が生まれることも必要では…。

耕作放棄の本当の問題は、農業をする人が減っている。そして、従来のやり方で小規模に農業を営んでも割に合わないということだと思います。であればどうするかということですが、大規模に機械化して経営するとか、固定した顧客をもって、直接販売するなどの工夫が必要なのだと思います。ただ、第三者が口でいうほど簡単なことではなく、農業をやってみたいと思う人が出てくるような状況が生まれることも必要ではないかと思いました。

耕作放棄と農業のあり方を考える

荒井から十林寺集落の下まで広がる山崎地籍。ここで、荒廃地を利用してブルーベリーの観光農園を行っているのが、山崎観光農園活性化組合です。長年果樹農家を営み、この組合の代表を務める高寺良和さんに、耕作放棄地の問題や農業のあり方などを伺いました。

「山崎のりんご畑は、かつての3分の2になってしまった。ほ場整備した田なら大型機械を使ってレタス畑とかに使えるけど、果樹は難しいわな」と話す高寺さん。「活性化組合も遊んでいる農地をもったいないという人が集まって、作る仕組みなんだけど、全体の解消まではいかない。ただ、町全体の活性化組合の土地とすれば、けっこうな面積にはなるんじゃないかと思う」と言います。

農地が失われると保水機能が低下し、大雨時の河川のはらんにつながったり、地域の景観や環境にも悪い影響があるとされますが、何うと「それは第三者の言うことで、農業をする当人はそこまで考えていない。百姓はもうからない、割に合わない。だから、親がでなくなると、勤めをやめてまでやる子はいない。時代の流れをとめるのは難しい」と高寺さんは話します。

山崎観光農園活性化組合は、畑が大きな道路に面している立地条件の良さもあり、固定的な顧客もいて、成功している活性化組合の一つです。今年、さらに荒廃地を開墾して、ラズベリーや、ブラックベリー、マルベリー（桑の実）などを植えて、品目を増やし、



今年、新たに開墾してブラックベリーを植えた山崎の畑。木の皮を敷き、保湿性を保ち、枝を誘引する支柱が立てられている。

人をどうよぶか、待っているだけじゃだめだね。

山崎観光農園活性化組合代表

たかてらよしかず
高寺良和さん（竹室）

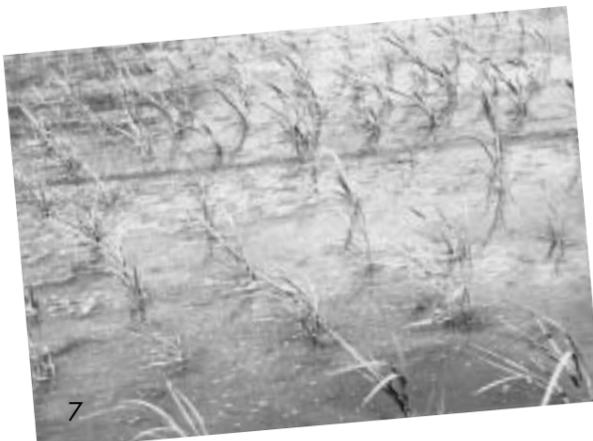


長期間の開園を目指しています。出荷の手間をはぶく観光農園は「人をよばないと、商売にならないから、知恵を出してやっている」と高寺さんは言います。開園当初から来た人には、ダイレクトメールを送り、「固定的に来る人をつかむ」努力もしています。また、新聞広告も出しています。「ブルーベリーの摘み取りに行きたいけど、知らない人を、どうよび寄せるかだと思ふ。そのために、何かしないと、人を待っているだけじゃだめだね」と話します。

現在、町内で数多くの水田を借り受けて耕作する米作りの担い手農家は、ごくわずか。その一人の三井良一（岡保）さんに伺いました。

町内で76枚の水田を耕作する三井さん。サラリーマンをやめて、平成6年から5人で耕作組合を作り、水田を借り受けて耕作を始めました。そして6、7年たったころに組合は解散。その後は、一人で米作りを続けました。

「平成7、8年ころは、やる気満々でやっていたけど、だんだん減らしてきた」と話す



6月16日から23日まで、平成17年第2回真田町議会定例会が開催されました。この議会では、平成17年度

の一般会計補正予算案をはじめ、11件の議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

人件費をさらに削減し、行財政改革を推進。

町長所信表明(要旨)

管理職手当の削減と退職勧奨を実施

人件費削減については、私をはじめとする常勤特別職の給与は、平成14年7月より3年連続して削減を行っておりますが、昨今の社会経済情勢が依然と厳しい状況を踏まえ、7月以降も継続して減額いたします。減額にあたっては、削減率を現行より、私の給与については5%拡大し15%の減額とします。助役及び教育長についても、それぞれ2%削減率を拡大し10%および9%の減額とします。一般職の職員の給与に関し

ては、これまで、管理職として課長補佐等に支給しておりました手当を、指定した職にある職員のみへ支給することとしました。支給額についても、課長職については支給

割合を2%削減し、給料月額8%とし、指定職にある係長等については、支給割合を1%削減した5%として、特別職の給与と同じく、7月以降引き続いて減額します。



台風23号の災害復旧工事が進む、入軽井沢の鳴尾沢。

ことを期待するところであります。

上洗馬地区ほ場整備は秋葉第一工区に着手

農林事業関係については、上洗馬地区ほ場整備事業で、秋葉第一工区のは場整備工事に着手しております。今後は更に、第二工区のは場整備工事も予定されており、今秋の面整備完了に向け順調に事業が進んでおります。

町道と町管理河川の災害復旧状況

建設関係については、傍陽地区を中心に大きな被害をもたらした、昨年の台風23号による道路、河川の被災箇所への復旧事業についても、継続し

て復旧に努めております。

7月末までには全ての町道、町管理の河川の復旧が完了する見込みです。

地域の皆様には、工事期間の延長に伴い、何かとご迷惑、ご不便をおかけしておりますが、今しばらくのご理解とご協力をお願いします。

管平浄化センターは、汚水処理施設に着手予定

下水道事業については、老朽化した管平浄化センターの平成19年度の供用開始に向け改築更新事業に取り組んでいます。本年度は16年度に引き続いて処理場の造成工事を行い、汚水処理施設の建設工事へ着手する予定です。新たな汚水処理施設整備にあたっては、合併市町村の整

備手法を統一し、今後の事務の整合を図るため、現在整備中であります上田市、丸子町と同様に、日本下水道事業団への委託により整備してまいりたいと考えています。

可決された主な議案

◇町長などの給与の減額

平成14年度からの特別職の報酬の減額割合を増して、継続することになりました。(削減率は町長10%を15%に、助役8%を10%に、教育長7%を9%に)

◇議員報酬の減額を継続

昨年に行っている議員報酬の削減が、議員発議により継続することになりました。(削減率は議長5%、副議長4%、委員長、議員3%)

◇平成17年度の一般会計補正予算

- 2億1412万6千円の増額が議決され、総額46億2412万6千円になりました。
- 主な内容は、次のとおりです。
- 電算システム統合等事業 4601万円
- 介護予防生活支援事業 3075万円
- 真田まつり実行委員会負担金 250万円

構造改革特区の認定を受けて、大畑区に建設が進む特別養護老人ホームのサテライト型居住施設と宅幼老所。



また、職員の定員管理の見直しを進めるなか、真田町職員退職勧奨要綱に基づく退職勧奨を行なってまいります。行政改革の第一歩として人件費、人員の見直しに努め、今後とも町政全般にわたりあらゆる面での改革を徹底してまいります。

地域分散型サテライト特区に認定

高齢者福祉については、地域限定で規制を緩和する構造

改革特区として、真田町全域が「地域分散型サテライト特区」に認定となり、3月28日には首相官邸において認定書をいただいたてまいりました。この認定を受け、社会福祉法人と民間事業者の共同による、特別養護老人ホームのサテライト型居住施設と宅幼老所の建設が現在大畑区において着手されております。

このような民間活力による介護施設整備の取り組みが、今後更に進み、地域における福祉の向上に寄与してくれる

新しい住所表示に関するアンケートにお答えください

来年3月6日に真田町、上田市、丸子町、武石村が合併して新生「上田市」が発足します。合併後の新しい住所表示における現町名の表示方法については、住民の意向を尊重し、各市町村ごとに決めることになっております。

で、各区長さんの定める方法で提出してください。

- 新住所表示の選択肢
- 住所表示は次の三つより選んでください。なお、合併協議の中で「大字」は、つけないことに決定されております。

- ①町名をそのまま表示 上田市 真田町
- ②町名のみを表示 (長・傍陽・本原)○○番地 上田市 真田
- ③町名を表示しない 上田市

●調査方法

広報と一緒に各区長さんを通じて1世帯1枚の調査票をお配りしますので、ご記入ください。回収も区長さんをお願いしています。

詳しくはお配りする調査票をご覧ください。
問い合わせ 政策係
有線2015
☎72-2202



上洗馬地区ほ場整備事業は、秋葉第一工区の工事が行われている。

Information 4市町村情報

■丸子町

「第10回信州爆水RUN in 依田川」
参加者募集!

開催日 8月7日(日)

会場 丸子町営総合グラウンド

コース 鉄人コース(約8kmのタイムトライアル制。中学生以上が対象、参加料1,800円)/ファミリー・グループコース(約3kmの指定時間制。小学生以上が対象、1グループ5名まで。参加料一人300円)

申し込み 7月20日(水)までに事務局へ(当日受付なし)。インターネットでも申し込みできます。詳しくはホームページ(<http://bakusui-run.hp.infoseek.co.jp/>)または下記まで。

問 信州爆水RUN in 依田川実行委員会事務局
☎43-2250

■上田市

第34回 上田わっしょい

真夏の恒例行事「上田わっしょい」がやってきます。夕方からみこしが市街地に繰り出し、「わっしょい」の生演奏が始まると、祭の雰囲気も最高潮。太鼓の演奏や大玉送り、参加連の個性的な衣装も見どころです。

日時 7月30日(土) (踊り開始18時30分～)

会場 上田市中心商店街一帯

問 上田市観光課 ☎23-5408

■武石村

夏山登山参加者募集!

この季節は最も登山に適した季節です。雪がとけ、一斉に芽吹く高原植物の花々を眺め、登る山。そんな夏山登山の参加者を募集します。

期日 7月24日(日)

目的地 飯縄山(標高1917.4m)

定員 20名(定員になり次第締め切り)

参加費 1000円

問 武石村中央公民館 ☎85-2030

■真田町

夢工房でそば打ち体験はいかが?

真田町の「ゆきむら夢工房」では、そば打ちや、パン、おやき作り、みそ仕込み、もちつきなどの体験ができます。団体での使用もできます。ふるさとの味を自分の手作りで体験してみてください。隣接する新鮮市では、地元産野菜の直売も毎日あります。

問 真田町振興公社・ゆきむら夢工房

☎72-0150



華やかな幟の列

うまだ

岳の幟

(別所温泉)

室町時代の永正年間(16世紀初め)、かんばつに悩まされた人々は、村の西側にそびえる夫神岳の山の神様に雨乞いの祈願をしたところ、恵みの雨が降り作物がよみがえりました。喜んだ村人はそのお礼に、山頂に祠を建て、毎年各家で織った布を奉納したのが始まりとされます。別所温泉の街なかを、地区の人々が大きな幟を担いで歩く様子はたいへん美しく、多くの観光客でにぎわっています。国の選択無形民俗文化財のこの行事。今年は7月17日(日)に行われます。



間近に打ちあがる大輪の花火

真田まつり

さなだ

目の前の神川河川敷から打ちあがる花火を、運動公園の芝生グラウンドから楽しむ人でにぎわうのは、真田まつりの最後を飾る大花火大会。NHKのドラマで真田太平記が放送された昭和60年から始まった真田まつり。以来、町民まつりとして親しまれてきました。21回目を迎える今年には、キャラクターショーや、みこし、ステージイベント、火縄銃のごう音がとどろく真田鉄砲隊演武など盛りだくさんな内容で8月6日(土)に開催されます。



まるこ

全国の鉄人たちが集う
信州爆水RUN
in 依田川

丸子の中央を流れる依田川と内村川を舞台に、毎年8月に開催されるマラソン大会「信州爆水RUN in 依田川」。真夏の清流を駆け抜けるこのレースに、全国から毎回たくさんの方々が参加し、体力の限界に挑もうとする健脚自慢のランナーで、にぎわっています。大会には、タイムを競う「鉄人」と川と親しむ「ファミリーグループ」の2つのコースがあり、子供から年配の方までレースを楽しめます。夏休みの思い出に、あなたも挑戦してみたいかがですか?



たけし

村民の「夏」夏祭り

花火大会

川遊び

毎年8月12日から15日は恒例の夏祭りが開催されます。12日には花市。夜店が並びにぎわう人々の中で太鼓の演奏やおみこしが行われます。そして、14日には納涼花火会。「ドカーン」と大きな音とともに夜空に大輪の花を咲かせます。期間中はマレットゴルフ場が無料開放されるほか、囲碁大会、ソフトテニス大会、ソフトボール大会も開催されます。帰省したみなさんも参加する「夏」。川遊びや山遊びも満喫し、しずかな村はにぎわいます。



上田市丸子町 真田町 武石村 共通企画

四つ葉の スケッチ

来年の春、私たちの住むまちが合併して新しい市に生まれ変わります。お互いのまちにはどんな個性があるのでしょうか? このコーナーでは、4市町村の魅力を毎月テーマに沿って紹介します。

●今月のテーマ **にきわう**

館報・広報

ひもといてみれば

①昭和33年11月号 町の誕生



来年3月5日で、47年以上の町としての歴史を閉じ、新生上田市として新たな出発をする真田町。

そこで、町の誕生当時から16年間発行されていた「公民館報さなだ」と、昭和46年から発行された「広報さなだまち」の中から、印象深い出来事があった号をひもといて、町の歴史を振り返ってみます。

真田町が発足したのは、昭和33年の10月1日。公民館報さなだの創刊号は、33年の11月25日付です。

1面は、「真田町発展へ―新しい伝統を築こう」と題された記事で、新生真田町について書かれています。それによると、人口は1万3274人、世帯数2602戸。今年6月1日と比べると、人口は1571人多く、世帯は1

209世帯少なかったことが分かります。

そして、この記事の最後は、『このように町の形はできたが、これで全てではない。この町の将来を賭するのは形ではなく我々住民一人一人の内

にあるものだと思う。なにも増して古き形から新しきものへの変遷のときどきは大きかろうと思うが、一刻も早くここから脱して真田町発展のための新しき伝統を育んでいくことこそその責務であろう。』と結び、新町発展への意気込みがうかがえます。

この10月1日の町発足の前には、6月18日に合併調印が行われています。長野県知事宛の町村合併申請書が役場に

あります。下の写真はその申請書と調印の様子を伝える新聞の切り抜きです。調印は、



長村、傍陽村、本原村が合併したときの、県知事への合併申請書と調印式の様子を伝える当時の新聞の切り抜き。

上小地方事務所で行われ、申請書には、当時の倉島蔵二長村長と坂口讓傍陽村長、横澤今朝六本原村長の自署と村長印が押されています。

そして、同じ1面には、11月1日に行われた初代町長と町議選の結果が載せられ、初代町長に荒木貞格氏、町議には26人が選ばれたことが、分か

ります。1面以外には、経済座談会として、町内で農業を営む人による「私はこれからの農業経営をこう考える」と題した座談会が掲載されています。『司会 お疲れのところご苦

労さまで。さっそくお話しをうかがうわけですが、ひとつザックバラに……。

わしらところは家族6人。働き手はわしと女房の二人、乳牛二頭飼っていやして、耕地は一町歩ほどやっているんですが、子供達は百姓やだがるですわ。』と始まる座談会は、生の声が載せられた興味深い読み物になっています。

この他にも、新しい住所の書き方や、長、傍陽、本原の「地域紹介」。現在の広報にも続く「人口動態」（現戸籍の窓）などが、掲載されていた館報の創刊号です。



昭和33年11月の公民館報さなだ。町発足の翌月から発行された。



あの人を訪ねて ⑦〇

ふるさとを愛する気持ちを何かのかたちで著してみたかった。

常田軍三さん（荒井）

8年に渡り新聞に連載された「真田随想録」の下巻がこのほど発行され、完結した。

ときだぐんぞう●書齋として使い、友人なども訪れる真田東雲庵で話を聞いた。看板は、古くからの友人が作ってくれたもの。

この4月に、真田氏三代の歴史を、史実と人物の会話を交え、分かりやすく描いた真田随想録の下巻を（株）東信ジャーナル社から出版した常田軍三さん（荒井）を訪ねました。東信ジャーナル紙上に、平成9年1月から連載が始まり、平成16年12月までの8年間、900回以上に渡り連載された真田随想録は、既に発行されている上、中巻に今回の下巻が発行されて完結しました。

上巻は、真田一族中興の祖といわれる真田幸隆。中巻は、幸隆の子で、長篠の合戦で戦死する信綱と、その後真田家の後継者となり、上田城を築



城した昌幸。下巻は、その子で、大坂夏の陣で戦死した幸村とその兄で、松代真田家のもととなる信之までの三代が綴られています。

これだけの大作は、「自分の足で歩いて」全国の真田氏関連の場所で資料を収集。連載の度に掲載される写真も自分で撮影していました。しかも、現在73歳の常田さんが、執筆を始めたのは、64歳。上田商工会議所の専務理事を務めていた常田さん。「仕事はおろそかにしなかった」というとおり、執筆は深夜2時から4時の2時間をあてて連載を続けました。

「もともと文章を書くのが好きだった」という常田さんは、60歳のころから、NHKの文章講座に取り組み、短文コンクールで秀逸賞を受賞。「そのへんが書き始めるきっかけだった」そうです。

今回発行した下巻のあとがきで、常田さんは、ふるさとを愛する高い志を「愛郷心」とよび、書き綴った真田三代の中に流れる心と書いています。「それは、様々なかたちで現れている。ふるさとを愛する気持ちを何かのかたちで著してみたかった。そういう意味で書いたというのが、今の気持ちだ」と話してくれました。

ヨガ&ストレッチ 教室の参加者を 募集します

☆からだの硬い人ほど効果が高い！
☆中高齢者の方大歓迎！
☆ストレス社会でがんばっている方！

心と身体の健康づくりとして、毎日の生活に「ヨガ」を取り入れてみませんか？

ヨガでは完璧なポーズをつくることよりも、むしろ正しい呼吸法を重視します。身体が硬いということは心配いりません。続けるうちにココロとカラダがほぐれていきます。

- 開講日 8月25日(木)
毎週木曜日 計10回
 - 時間 午後7時～8時
 - 会場 町文化会館大ホール
 - 講師 真田町健康運動指導者
 - 対象 成人男女
 - 定員 30名
 - 保険代 1人 500円
 - 持ち物 バスタオル
 - 申し込み期限 7月29日(金)
- ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。
※申し込み・問い合わせ
教育委員会スポーツ振興係
有線2244 ☎72-2655



クロマメノキにとまるミヤマモンキチョウ
佐藤昭彦氏撮影

高原のチョウや植物 を大切に

―今年もパトロールを実施―

菅平高原には県の天然記念物であるミヤマモンキチョウ・ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲといった、絶滅の危機にひんしているチョウが息を絶やしています。

ミヤマモンキチョウは、私たちがよく目にするモンキチョウをひとまわり小さくした大きさの黄色いチョウで、繊細でかわいらしい姿が印象的です。標高の高い場所に生息するため、初夏の限られた時期にしか見られません。年々数が少なくなっており、一部の心無いマニアが標本のために採集していることも、数が少なくなっている原因のひとつです。

○幼虫の食草はクロマメノキ
ミヤマモンキチョウの幼虫は、ク

大会結果

真田町硬式テニス大会 春季ジュニア大会

5月29日(日)運動公園テニスコートにおいて、硬式テニスのジュニア大会が開催されました。
結果は次のとおりです。
《小学校3年生以下の部》

- 優勝 飯島三貴(本原小3年)
- 準優勝 小林美紅(本原小3年)
- 第3位 白石真由子(本原小3年)
- 第3位 清水美来(本原小3年)
- 《小学校4年生の部》
- 優勝 田中智翔良(長小)
- 準優勝 小宮山健太(長小)
- 第3位 三井千夏(傍陽小)
- 第3位 大塚美南海(本原小)
- 《小学校5年生の部》
- 優勝 小宮山拓哉(長小)
- 準優勝 小宮山涼(長小)
- 第3位 鈴木琳子(長小)
- 第3位 杉原啓晋(本原小)
- 《小学校6年生の部》
- 優勝 倉島かずみ(本原小)
- 準優勝 三浦由美子(本原小)
- 第3位 宮下由紀江(長小)
- 第3位 山口桜(長小)

真田町ビーチボール大会

5月30日(月)町民体育館において町のビーチボール大会が開催されました。

大会の結果は次のとおりです。
優勝 ドリームB
準優勝 ドリームX
第3位 アップル大畑

真田町マレットゴルフ大会

6月14日(火)御屋敷公園マレットゴルフ場において、第33回真田町民マレットゴルフ大会が開催されました。

- 大会結果は次のとおりです。
優勝 堀内芳孝(田中)
準優勝 坂口重喜(下原)
第3位 塩沢敏男(横尾)
第4位 雪入安春(中原)
第5位 鈴木秀雄(横尾)



広々としたお屋敷公園で行われた町民マレットゴルフ大会。

真田町家庭婦人 バレーボール大会

6月19日(日)町民体育館において、第31回真田町家庭婦人バレーボール

大会が開催されました。
大会の結果は次のとおりです。
優勝 SUGADAIRA
準優勝 曲尾
第3位 下原
第3位 竹室



優勝したSUGADAIRAチーム

上小ふわっとテニス大会

6月12日(日)丸子町民総合体育館において、第5回上小ふわっとテニス大会が開催されました。

- 真田町からは4チームが参加しました。
参加チーム結果は次のとおりです。
《第2ブロック》
第3位 真田FTC幸村
《第4ブロック》
第4位 真田FTC佐助
《第5ブロック》
第4位 真田FTC才蔵
《第6ブロック》
第5位 真田FTC大助

7月の図書館だより

児童図書室には、絵本や児童書が約6000冊備えられ、その蔵書量は周辺の図書館の中でも多く、真田町図書館の特徴です。部屋もゆつたりとした大きさと、靴を脱いで親子でゆっくり本に親しむには最適な場所です。上田市や東御市などからも利用があり、ご好評をいただいています。検診の帰りなど、お子様と一緒にぜひご利用ください。

今月のお話し広場

日時 7月16日(土) 午前10時～

場所 児童図書室

担当 傍陽子ども文庫のみなさん

今月の休館日

・月曜定例休館 4日/11日/25日

・祝日とその振替休館

18日(月)、19日(火)

・月末整理休館 29日(木)

おすすめの一冊

『明日の記憶』 荻原浩(光文社)

「人ごとだと思っていたことが、我が身に起こってしまった。」広告マンとして仕事に追われている佐伯は、物忘れがひどくなっていく自分に不安を感じ、病院に行きます。そこでこの診断は「若年性アルツハイマー」。また大丈夫だという自分とはうらはらにこぼれおちる記憶。治らない病とどう向き合っていくのか？もしも自分だったら・・・と考えさ

せられる一冊です。

新着図書を紹介

- 「象の消滅」 (村上春樹)
- 「漢方小説」 (中島たい子)
- 「スローグッドバイ」 (石田衣良)
- 「何があってもだいじょうぶ」 (櫻井良子)
- 「ヘタな人生論より葉隠」 (本田有明)
- 「スノードーム」 (アレックス・シアラ)
- 「アガサクリスティ探偵名作集」 (全24巻)
- 「蒼路の旅人」 (上橋菜穂子)
- 「にせにせことわざずかん」 (荒井良司)

教育相談のお知らせ

子どもたちや保護者の皆さんが抱える、教育に関する悩みの解決のお手伝いをするため、教育相談を実施します。

相談には教育委員や事務局職員などがあたり、内容については秘密が厳守されます。7月は次の日程で開催します。

相談を希望される方は、開催日の1週間前までに、学校教育係までお申し込みください。

日時 7月24日(日) 午前9時～12時
会場 真田町文化会館会議室

問い合わせ 学校教育係
有線2043 ☎72-2655



Information

調理師、製菓衛生師の試験を実施します

平成17年度の調理師試験、製菓衛生師試験を次のとおり行います。
日時 9月14日(水)午後1時～3時まで
場所 上田合同庁舎6階講堂もしくは上田消費生活センター会議室
願書の受付 7月25日(月)～7月27日(水)まで上田合同庁舎302号会議室で受付(願書は長野県ホームページに掲載された用紙を使用するか、上田保健所に置いてあります。)
問い合わせ 上田保健所食品衛生課 ☎25-7152

防衛大学校等学生と自衛官を募集

採用説明会
日時 7月24日(月)午後1時～3時
場所 自衛隊上田募集事務所
内容 自衛隊全般(防大・医大含む)自衛官募集について
募集種目/資格/受付期間
 防衛大学校学生(幹部)／高卒(見込)21歳未満／9月5日～7日(推薦)9月9日～30日(一般)
 防衛医科大学校学生／高卒(見込)21歳未満／9月9日～30日
 2等陸海空士／18歳以上27歳未満／随時(男子)8月1日～9月8日(女子)
 一般曹候補生／18歳以上24歳未満／8月1日～9月8日
 曹候補士／18歳以上27歳未満／8月1日～9月8日
 航空学生(海空パイロット)／高卒(見込)／8月1日～9月8日

看護学生(看護師)／高卒(見込)／9月9日～30日
申し込み・問い合わせ 自衛隊上田募集事務所 ☎22-5267

SOを語る会に参加しませんか

スイス選手団をホームステイでお迎えしたホストタウンプログラムが終了して早や5ヶ月が過ぎようとしています。
 SO世界大会へ参加された皆さんに、思い出や感じたことを自由に語り合ってください、今後の地域づくりを考えるきっかけとする「SOを語る会～七夕の夕べ～」を開催いたします。経験や思い出を語り合い、あの感動を再び仲間と共有してみませんか。
日時 8月27日(土)午後6時～
会場 上田合同庁舎 講堂
内容 ①思い出展②SO世界大会記録ビデオの上映③意見交換④ボランティア受入施設、SO日常プログラムの紹介
問い合わせ ボランティア交流セ

上田わっしょい 真田町連の参加者募集

7月30日(土)に、上田市の市民まつり「上田わっしょい」が行われます。来年3月の合併を前に交流の良い機会であることから、真田町でも連をつくり参加したいと思います。真田町連で、一緒にわっしょいを踊りましょう。
上田わっしょい日時 7月30日(土)午後6時30分～8時30分
募集人員 50人(応募多数)

ンターながの ☎026-232-2221

イベントやブース展示で信州環境フェア2005

「みんなで止めよう温暖化～地球のためにできること～」をテーマに全県規模で開催します。
 子どもから大人まで、楽しみながらライフスタイルを見つめなおすきっかけとなる様々なブースやイベントを用意して、皆さんのご来場をお待ちしています。
日時 7月9日(土)午前10時～午後5時 10日(日)午前9時～午後4時
会場 ビックハット(長野市)
【入場無料】
主なイベント・コーナー(予定)
 ○ブース展示 企業やNPOによる、環境に関連した技術・製品・サービスや環境保全にむけた取り組みを紹介する約90のブース出展
 ○ステージショー 「サイエンスショー」、「金色のガッシュベルショー」、「エコレンジャーショー」など楽しみながら環境について学べるステージショー
 この他、体験コーナーや講演会、セミナー、エコポイントを集めて抽選会など
問い合わせ 実行委員会事務局 県地球環境課 ☎026-235-7169

のときは抽選)
締め切り 7月11日(月)
 ※踊りの練習や当日の集合時間・場所などについては、参加者に後日連絡します。
申し込み・問い合わせ 商工会 有線2061 ☎72-4050



地球温暖化防止にご協力ください

環境省では、地球温暖化防止のため、次の6つの具体的な行動を呼びかけるキャンペーンを展開しています。ご協力ください。
 ・冷房は28度に設定しよう。
 ・蛇口はこまめにしめよう。
 ・エコ製品を選んで買おう。
 ・アイドリングをなくそう。
 ・過剰包装を断ろう。
 ・コンセントをこまめに抜こう。
問い合わせ 「チーム・マイナス6%」運営事務局 ☎03-3573-4026

暴力団追放のポスター・標語を募集

内容 暴力団を許さない、暴力団を排除する意識高揚を訴えるもの
ポスター B3判画用紙
標語 はがき、FAX、メールで何点でも
締め切り 9月9日(金)
その他 作品には必ず、住所、氏名(ふりがな)、電話、年齢を明記してください。入選作品は、11月17日(木)、上田市民会館で開催の県民大会で表彰されます。
送付先・問い合わせ (財)長野県暴力追放県民センター 〒380-8510 長野市南長野幅下692-2 ☎026-235-2140 FAX026-233-3741 メールboutsui@mx2.avis.ne.jp

社会福祉大会で子育ての講演会

町社会福祉大会で、子どもたちの健全育成への支援のために私たち一人ひとりどう行動したらよいかをテーマに講演会を行います。講師は、不登校、非行、虐待等多くの子どもや親のカウンセリングに関わり、また、障害児の会等の

コーディネートに携わり、活動する方です。お越しください。
日時 7月16日(土)午後1時30分～4時
場所 文化会館
講師 ふりはた子どもの輝き相談 所長・臨床心理士、清泉女学院大学教授 降旗志郎氏
問い合わせ 社会福祉協議会 有線2007 ☎72-2998

有線スピーカーの調子はいかがですか

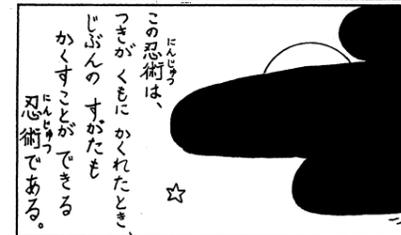
有線放送をご利用の方で、スピーカーのボリュームの不具合や受話器の故障がありましたら無料で修理します。お申し出ください。
問い合わせ 情報有線係 有線2121 ☎72-2258

町事業の落札業者(4・5月分)

羽根尾西組線配水管布設替工事 金井設備商会(株) 641万円

乳幼児健康診査と予防接種

(7月6日～8月5日)
ベビー相談 7月7日(木)午後1時～1時40分受付
場所/保健センター
対象/17年4・5月生まれ
3歳児健診 7月8日(金)午後1時15分～1時40分受付
場所/保健センター
対象/14年3～5月生まれ
乳児健診 7月26日(火)午後1時15分～1時40分受付
場所/保健センター
対象/16年9・12月、17年3月生まれ
BCG 7月7日(木)午後1時～1時40分受付
場所/保健センター
対象/17年4・5月生まれ



三種混合 6～8月
場所/本原医院・小林医院
対象/初回は16年9月～17年2月生まれ・追加は15年3～8月生まれ・7歳6ヶ月未満の未接種児
問い合わせ 保健センター 有線2053 ☎72-9007

行政相談、心配ごと相談

日時 7月25日(月)午前9時～正午
場所 福祉センター
問い合わせ 行政係 有線2011 ☎72-2201 または社会福祉協議会 有線2007 ☎72-2998



行政

情報

Information

国民年金保険料が申請免除される制度があります

経済的な理由で保険料の納付が困難な場合は、申請して承認されると保険料が免除される「申請免除制度」があります。申請免除制度は、保険料の全額（月13,580円）を免除する全額免除と、半額（月6,790円）の免除を受ける半額免除の制度があり、免除を受けるには、所得要件があります。

免除された期間は、老齢基礎年金を受けるための期間となります。また、病気やケガで一定の障害が残った場合は、障害基礎年金が支給されます。申請は毎年必要で、現在申請免除を受けている方も申請が必要です。

今年度から30歳未満の方には、申請して承認されると保険料の全額（月13,580円）の納付が猶予される「納付猶予制度」ができました。この対象となる所得は、全額免除と同額ですが、判定は本人と配偶者のみの所得で行われます。納付猶予期間は、老齢基礎年金を計算する期間には含まれません。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

国保で入院時の食事代の軽減を受けるには申請を

国民健康保険では、住民税非課税世帯の方の入院時の食事代が軽減される制度があります。この制度を受けるためには申請が必要です。申請して認められると「標準負担限度額認定証」が交付されます。すでに、交付を受けている方についても、毎年申請が必要です。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

8月から高齢受給者証が更新になります

国民健康保険に加入し、高齢受給者証を交付されている方の受給者証は、7月31日で有効期限が切れます。新しい受給者証を7月末にお送りしますので、8月から新しい受給者証をお使いになり、古い受給者証は、破棄していただく

ようお願いします。

また、高齢受給者証を交付されている方で、所得の低い方は、申請して認められると、「限度額適用・標準負担限度額認定証」が交付され、入院時の食事代が減額され、窓口負担の限度額が少なくなる制度があります。この制度を受けるには、事前に申請が必要です。すでに、交付を受けている方についても、毎年申請が必要です。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

老人保健で減額を受けるには申請が必要です

老人保健対象の方は、8月以後の受診について前年中所得により、新たに負担割合が判定されます。住民税非課税世帯は、申請により低所得Ⅰ、低所得Ⅱに適用区分が変更になります。認定されると「限度額適用・標準負担額減額認定証」を発行します。これを病院の窓口で提示すると、入院時の食事代の標準負担額が減額されます。また、高額医療費の自己負担限度額も下がります。なお、7月まで低所得Ⅰ、低所得Ⅱに認定されていた方も、新たに申請が必要になりますのでご注意ください。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

17年度の農用地変更申請締切日は、8月3日です

「住宅または墓地等を建てたい。しかし計画しているのは農地」こんな場合には農地の転用許可が必要です。その農地が農業振興地域（今後長期に渡り農業上の利用を確保する地域）内である場合、農用地変更申請書を提出いただき、町の協議会で審議され、その転用がやむを得ないと認められた場合、県の同意を得て計画変更できます。

この、手続きが終了するまでおよそ半年間かかります。しかし、町が来年3月6日に合併するため、合併4市町村の現在の整備計画を調整し、新たな変更計画を策定する必要があります。そのため、今後の申請と審議会開催は、次のとおりになりますので、計画等がある方は早めに役場または専門家までご相談ください。

- 平成17年度農用地変更申請締切日 8月3日（水）
- 農業振興地域整備促進協議会開催日 8月29日（月）

なお、期限後の申請案件が生じた場合、受付は可能ですが、協議が行なわれるのは平成18年の夏以降となる予定です。
問い合わせ 農林係 有線2024 ☎72-4330

第21回 真田まつり 8月6日（土）に開催！

真田まつり実行委員会では、町民の皆さん、各種団体、商店、企業の皆さんのご支援、ご協力のもと8月6日（土）、真田町運動公園周辺において第21回真田まつりを開催します。

真田まつりは、昭和60年の真田太平記放映を機会に「町民まつり」として産声をあげ、町民の皆さんに親しまれてきました。

暑い夏の祭りを盛大に開催します。大勢の皆さんご参加ください。
日時 8月6日（土）イベント広場、キャラクターショー、信州真田六文銭太鼓、みこし、生歌で民謡流し等／午後1時から
大花火大会：午後8時から（荒天の場合、翌日7日午後7時30分から）
会場 運動公園

咲かせよう！ふるさとの夜空に大きな花火

真田まつりの最後を飾る大花火大会に、慶祝花火をあげてみませんか。お誕生や入学祝いに、また、お二人のご結婚記念に、そして、お店の開店祝いや創業記念に。思い出に残る花火大会になります！

参加料金
寸玉3号 4,000円
寸玉4号 8,000円
寸玉5号 11,000円
スターメイン 10万円～
組み合わせスターメイン3万円～
参加特典
①申し込み順に有線放送で参加者名を放送。②プログラムに、参加者名を掲載。③打ち上げるときに、参加者名と広告を場内放送。
締め切り 7月14日（木）
申し込み・問い合わせ 観光商工係 有線2042 ☎72-2204



ショッピングタウンの出店者募集

出店料金 3000円（ただし、町民は無料）
店舗幅 2.7m×3.6mのテントスペース
その他 バザー・フリーマーケットも募集
締め切り 7月15日（金）
申し込み・問い合わせ 商工係 有線2061 ☎72-4050

あぜ草やごみは川や用水路に流さないように

今年も台風のシーズンが近づき、大雨による災害が心配されます。特に下流では水量が増え、あぜ草やビニールなどが水の取り入れ口や暗渠の用排水路につきまると水害になるケースが毎年数多く発生しています。

川や用水路にあぜ草を流したりごみを捨てないようにお願いします。また堰や水門の管理は、事故がおきないように管理をお願いします。
問い合わせ 農村整備係
有線2082 ☎72-4330

結核レントゲン検診の受診対象者が変更になりました

結核予防法の改正により、平成17年度の結核検診の対象者は65歳

以上の方に変更になりました。（昨年までは16歳以上）

受診票及び日程のお知らせは、各種検診の申込みの際に、申込みいただいたお宅にのみ配布します。
検診日は7月11日（月）～7月15日（金）、7月19日（火）、10月24日（月）です。申込みを忘れた方は役場保健センターに受診票がありますのでお持ちください。
問い合わせ 健康推進係
有線2053 ☎72-9007

作品募集！真田の里 かかしコンテスト

最近町内でも見かけること少なくなった「田畑」の番人「かかし」。皆さんが工夫をこらし作られた「かかし」のコンテストを行います。
農休みのひととき、また、子どもさんは夏休みの時間を利用して、

世界で一つしかない我が家の「かかし」を作ってみませんか。多数のご応募をお待ちしています。

募集作品
町内に設置されている「かかし」で、格好、大きさ、材質等自由。昨年応募の「かかし」を模様替えしたものも可。

応募方法
「かかし」の製作者の住所・氏名・電話番号・作品名・設置場所を電話かFAXで事務局までお申し込みください。

募集締め切り 9月2日（金）
表彰
入賞者には、賞状と副賞（記念品）を贈ります。応募者全員に記念品をさしあげます。発表は、広報さなだまち11月号に掲載します。
申し込み・問い合わせ 農林係内真田の里かかしコンテスト事務局 有線2032 ☎72-4330 FAX72-4140

水道工事当番店

7月の水道工事当番店です。

| 工事店名 | 月 | 日 |
|-------------------------------|---|-------|
| 金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356 | * | 7 20 |
| (有) 駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373 | * | 8 21 |
| (有) 真田建設 ☎72-2019 有線 5430 | * | 9 22 |
| 石巻設備 ☎73-2021 有線 4454 | * | 10 23 |
| (有) 長崎商店 ☎73-2511 有線 2368 | * | 11 * |
| (株) アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333 | * | * 24 |
| (有) ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383 | * | 12 25 |
| 山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210 | * | 13 26 |
| (有) 信濃空調 ☎72-5706 有線 6249 | 1 | 14 27 |
| 若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332 | 2 | 15 28 |
| イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216 | 3 | 16 29 |
| 浅間設備(株) ☎72-3938 | 4 | 17 30 |
| 菅平設備 ☎74-3933 | 5 | 18 31 |
| 岩瀬住設 ☎74-4122 | 6 | 19 * |

税の豆知識

国民健康保険の額はどう計算する？

国保税は次の4項目から計算されます。

●医療

| 項目 | 計算方法(年額) |
|-----|-------------------|
| 平等割 | 1世帯あたり24,000円 |
| 均等割 | 被保険者1人あたり18,000円 |
| 所得割 | (前年の所得-33万円)×5.8% |
| 資産割 | 固定資産税額×34% |

●介護分

40歳以上65歳未満の方は、介護保険に加入しますので、次の金額が合算されます。

| 項目 | 計算方法(年額) |
|-----|-------------------|
| 平等割 | 1世帯あたり6,000円 |
| 均等割 | 被保険者1人あたり8,500円 |
| 所得割 | (前年の所得-33万円)×1.2% |
| 資産割 | 固定資産税額×5.5% |

●納付

国保税額の通知は7月にお手元に届きます。納期は翌年2月までの8回です。そのため、加入月と支払月が一致していません。ご注意ください。

問い合わせ 税務係 有線2041 ☎72-0154

MANさなだ ゆうほう番組表 (7/6~8/5)

放送時間は、夕方6時30分～(再放送は翌朝6時～)となります。

(おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは、夕方6時～)

| 日 | 曜 | 番組名 | 出演者 |
|----|---|-------------------------|-------------------|
| 7 | 木 | 駐在所だより | ／真田駐在所 |
| 9 | 土 | おはなしの世界へ「七つのほし」 | ／おとぎの会 佐納 良裕さん |
| 10 | 日 | 学校だより「5松の歌声(5年生)」 | ／傍陽小学校 |
| 12 | 火 | 身近な税の話「所得税の予定納税」 | ／上田税務署 |
| 13 | 水 | 図書館の窓 | ／図書館 |
| 14 | 木 | 農業アドバイス | ／上小農業改良普及センター |
| 16 | 土 | おはなしの世界へ「清兵とひょうたん」 | ／おとぎの会 星野 照子さん |
| 17 | 日 | 保育園だより「みんなの畑」 | ／さなだ保育園 |
| | | みんなの食生活「血液サラサラの食生活」 | ／保健センター山崎栄養士 |
| 19 | 火 | みんなの健康(暑い季節の疾患①脱水②蜂さされ) | ／小林医院 小林 忠正先生 |
| 21 | 木 | 生活のしおり | ／JA長支所増田生活指導員 |
| 23 | 土 | おはなしの世界へ「吉四六話」 | ／おとぎの会 おとぎの会の皆さん |
| 26 | 火 | さなだ通信 | ／町内から |
| 28 | 木 | 庭木の管理 | ／真田町造園協同組合 堀内久夫さん |
| 30 | 土 | おはなしの世界へ「わらとすみとそら豆」 | ／おとぎの会 松沢 悦子さん |
| 2 | 火 | 生活環境係から | ／生活環境係 |
| 4 | 木 | 公民館だより「公民館学級の様子から」 | ／生涯学習係 |

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ
だれからも愛される
子になつてね!



野口麻桜ちゃんとお母さん

4月届け出分

♡いつまでもお幸せに

(直江 芳 樹 坂 城 町
長谷川 麻 衣 中 原
(羽田 敏 之 上 田 市
倉島 奈 保 横 沢

☆お誕生おめでとう

一之瀬ひかり (光 夫 石 舟
美津江
伊藤 俐温 (拓 久 荒 井
彩
野口 麻桜 (高 志 町 原
まお 優 希
市川 拓哉 (和 儀 町 原
たくや ティップ
西牧 だいき (真 吾 穴 沢
大輝 裕 美

□ごめいふくをお祈りします

| | | |
|-------|-----|------|
| 小林 忠雄 | 100 | 入軽井沢 |
| 馬場 とし | 96 | 菅 平 |
| 大島袈裟男 | 93 | 下 原 |
| 加持 清 | 59 | 菅 平 |
| 堀内 雄二 | 44 | 萩 |
| 三井 縫子 | 80 | 下 原 |
| 金子 舞 | 7 | 田 中 |
| 半田ノブエ | 93 | 三 島 |
| 鍋田諭一郎 | 71 | 中 横 |
| 丸山はまい | 85 | 菅 平 |
| 小山 和一 | 94 | 菅 平 |
| 田中 治雄 | 74 | 上 原 |
| 關谷よしの | 83 | 大 畑 |

納税と使用料

8月1日(月)

- ・固定資産税
- ・国民健康保険税
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・有線放送使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料
- ・ふれあいの館利用料
- ・在宅支援サービス利用料

●月曜日は午後7時まで!●

役場延長窓口(住民票・印鑑証明・所得証明・納税証明)をご利用ください。

クッキング

No.104

新しょうがのつくだ煮

(材 料)

しょうが……………1kg
(A) しょう油 ……150cc
砂糖……………350g
(B) 白ごま ……30g
減塩こんぶ ……1袋



和田貴美子さん(荒井)

小分けにして冷凍しても凍らないので、
何度も楽しめます。

(つくり方)

- ①しょうがは、スライスして3回位湯でこぼして、水気をよく切る。
- ②(A)を煮立てて、しょうがを入れて、汁がなくなるまで中火で煮る。
- ③②に(B)を入れて弱火で少しの間かきまぜて、できあがり。



カメラニュースは、町の中の様々
な出来事や話題をお届けしてい
ます。



● 牛乳パックで作ろう クラス全員が乗れる舟

5月31日、長小学校の2年生が、
役場を訪れ、牛乳パックの回収箱
を玄関に設置しました。

これは生活科の授業で、牛乳パ
ックでクラス全員26人が乗れる舟
を作ろうと、町内の施設に設置し
た回収箱の一つで、2000個収
集が目標だとか。役場を訪れた柳
沢崇文君、北沢瑞希さん、田中育
夢君、若林隆大君の4人（写真）
は、「牛乳パックで舟を作るので、
箱を置かせてください」と元気な
声で役場総務課に依頼。その後、
箱を設置しました。担任の大井和
彦先生は、「身近な物で作り、環
境のことも考えようと取り組みま
した」と話していました。



● さわやかな高原の風が吹く中 菅平高原カントリーフェスティバル

6月5日、恒例の菅平高原カ
ントリーフェスティバルが、菅平高
原国際リゾートセンター前の芝生
広場で行われました。

多くのイベントや、模擬店に
ぎわうこのフェスティバル。さわ
やか健康マラソンや、ふれあいミ
ニ動物園、弾丸四駆大会、皿回し
大会や、菅平高原太鼓の演奏、フ
ラメンコダンスなどが行われ、多
くの家族連れなどが楽しみました。

また、名物の牛の丸焼きをはじ
め、牛ステーキや山菜天ぷらなど
も人気で、行列ができていました。
牛の丸焼きの入刀式で、子どもた
ちと刀を入れた田中典子さん（須

坂市）は、「是非これを食べたい
と思って、今日は早く来ました。
いい思い出になってよかったです
」と話していました。



● 上小防犯協会連合会女性部が 青色防犯パトロール

6月15日、上小防犯協会連合会
女性部が、青色回転灯装備車によ
る青色防犯パトロールを町内で行
いました。

これは、警察活動と連携して、
犯罪抑止や、安全・安心な地域づ
くりに取り組む自主防犯活動を支
援、活性化するため、昨年12月か
ら認められたもの。同会の真田地
区女性部などが毎月巡回します。

当日は、真田と上田の会員と事
務局の4人が、学校の下校時間に
合わせて、「子どもの下校時には、
住民の皆さんも気配りしましょう」
など拡声器で呼びかけながら巡回

しました。同会事務局の浅川玲子
さんは、「地域の犯罪が未然に防
止できればと思います」と話して
いました。



● 十勇士の里新鮮市に 県産材の木製ベンチを設置

6月1日から、石舟の十勇士の
里新鮮市前に県産カラマツで作っ
た木製ベンチが設置されました。

これは、新鮮市前に飲料水の自
販機を設置するガイドードリンク
（株）が社会貢献活動の一環で提供し
たもの。同社と新鮮市を運営する
町振興公社は、自販機売り上げの
1%ずつを、健全な森林づくりを

進め、緑化事業の推進を図る（財）
長野県緑の基金に募金します。

公社の堀内六雄理事は、「新鮮
市も緑化推進に協力しています。
地元産の新鮮な野菜をはじめ、姉
妹町の和歌山県九度山町の物産品
や、地粉を使った手打ちそばなど
も提供していますので、是非お越
しくください」と話していました。



● 町内の交通死亡事故ゼロ 1000日を達成

6月1日、真田町の交通死亡事
故ゼロ1000日達成を顕彰して、
県交通安全運動推進本部長（長野
県知事）名の表彰状が、町に渡さ
れました。

表彰状の伝達は、役場で行われ、
田中利明上小地方事務所長が箱山
町長に表彰状を手渡しました。

町内で、最後に死亡事故が発生
したのは、平成14年7月31日で、

今年の4月26日に、1000日を
達成しました。5月31日現在、町
の死亡事故ゼロ継続日数は、10
35日で、長野県内の町では、5
番目の長さです。

箱山町長は、「通過交通も多く、
観光地もありますが、安全で安心
な生活は、住民も行政も目標です。
これからも事故の無い町づくりを
推進します」とあいさつしました。





商工会本原支部が、 立ち上げた 真田のお屋敷 つつじ祭り。

満開のつつじの中で
信州真田六文銭太鼓の
演奏が行われた。

5月22日、お屋敷公園で、初めての「真田のお屋敷つつじ祭り」が開催されました。この祭りを立ち上げたのは、商工会本原支部。同支部は、20年ほど前からつつじが咲く5月ころにお屋敷の真田氏館跡に花見のためのぼんぼりを付けてきました。このぼんぼりは、会員の寄付で付けられたもので、年々その数を増や

してきたとか。そして、来年、町が合併。新しい上田市になることから、真田の名前をつけたこの祭りを計画したそうです。祭りは、商工会本原支部の会員が出て、綿あめや、ポップコーンを振るまい、信州真田六文銭太鼓が、真田氏の活躍を題材にした曲を披露。お屋敷公園には、県外からの観

光バスや、家族、グループでの花見客も大勢訪れていて、集まった200人ほどの人が満開のつつじと勇壮な太鼓演奏を楽しみました。本原支部長の宮下尚さん(中原)は、「今年この祭りが立ち上がったことは、感無量です。いつまでもこの祭りが続くことを願っています」と話していました。

Town Topics Jul 2005

季節の中で

今月の表紙は、小学校5年生の男の子たちですが、このときには、女の子たちもいました。しかし、女の子たちは、カメラを向けると恥ずかしくてなかなか撮れません。高学年の女の子になると、やはりそういう気持ちが出てくるのでしょうか。これが大人の方になると、取材をお願いしても、いや写真は勘弁してと言われ、違う方を探す場合も。皆さんも、広報の取材をお願いしたときは、あまり気にせず、写真に写っていただくようお願いし

ます。
(なべ)

インターネット情報
<http://www.sanada.or.jp/>
<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口
11,703人 (-15)
男 5,784人 (-3)
女 5,919人 (-12)
世帯数 3,811戸 (+9)

平成17年6月1日現在 ()内は前月比



この広報紙は環境に配慮し、古紙100%、植物性大豆インキを使用しています。